

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」におけるKPI達成状況（第二ステージ）

1 不安定な就労状態にある方

【目標】正規雇用者について、2年間で3,200件以上を目指す。			
	取組概要	令和5年度	令和6年度
全体KPI	○正社員就職件数2年間で3,200件以上	○正社員就職件数 1,527件 (R5.9月末現在)	
マッチング・相談による支援	<労働局> ○就職氷河期世代支援窓口を設置し、チーム支援を実施 ハローワーク広島 (令和2年4月1日設置) ハローワーク広島西条 (令和3年3月1日設置)	○正社員就職件数 1,527件 (R5.9月末現在)	
	○氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保	○限定求人 37人 歓迎求人 707人 (R5.9月末現在) 限定求人382人 歓迎求人3,739人 (R1.8~R5.9累計)	
	○各ハローワークにおけるセミナー・ミニ面接会の開催	○開催数517回 参加者数2,498人 (R5.9月末現在)	
	○民間委託による企業説明会や就職面接会の実施、幅広い周知広報の実施による気運の醸成	○人材採用・活用を目指す企業を対象とした「オンライン企業セミナー」 (R5.7.19) 参加企業数56社 ○オンライン企業説明会 (R5.10.21) 参加企業数12社 参加者数9人 ○就職氷河期世代の応援、委託事業の周知広報を行うPodcast番組 5回配信 (R6.1月まで全8回)	
	○就労体験を通じた業種・職種の理解の推進のための職場実習・体験の実施	○受入可能事業所数21社 参加者数6人 (R5.9月末現在)	
	<広島県> ○ひろしましごと館における就職支援等	○相談件数337件、就職件数14件 (うち正規雇用8人) (R5.9月末現在)	
	○就職氷河期世代へのマッチング機会の提供	○「働きたい人全力応援ステーション」におけるマッチング支援 (R5.9月末現在) ・新規求職登録件数577人 (うち就職氷河期世代248人) ・就職決定件数339人 (うち就職氷河期世代146人 (うち正規雇用45人)) ※R5年度就職決定件数339人にはR4年度からの継続分を含む	
	<経済産業局> ○民間事業者による中小企業と就職氷河期世代の者とのマッチング事業の開催	○合同企業説明会の開催 (R5.10.29、11.25予定)	
	<広島市> ○就職氷河期世代等のマッチングの促進	○「しごと相談カフェiroha」の実績 ・求職登録者数308人 (うち就職氷河期世代133人) ・就職決定者数155人 (うち就職氷河期世代82人 (うち正規雇用30人)) (R5.9月末現在)	
<呉市> ○「呉しごと相談館」における就職氷河期世代等の就職支援等	○就職氷河期世代等支援事業「呉しごと相談館」 ・相談者数 (延べ人数) 50人 (うち就職氷河期世代 40人) ・就職者数 3人 (うち就職氷河期世代 2人) (R5.9月末現在)		
職業能力開発等に向けた支援	<労働局> ○求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい夜間・土日やeラーニング等の訓練の提供	○求職者支援訓練短期短時間4コースの設定 (R5.9月末現在) (医療事務、介護、Excel等)	
	<広島県・機構> ○県立高等技術専門学校及び広島能力開発促進センターにおいて職業訓練を実施	○県：施設内開講コース3件 委託先開講コース34件 (広島県内) (R5.9月末現在) ○機構：施設内訓練コース16件 (うち企業実習付き3件) 設定 (R5.9月末現在)	
職場定着・企業向けの取組	<労働局> ○特定求職者雇用開発助成金・トライアル雇用助成金の積極的な活用	○特定求職者雇用開発助成金147件・トライアル雇用助成金39件 【35~55歳の申請件数】 (R5.9月末現在)	
	○企業内での実習 (OJT) と座学 (OFF-JT) による訓練機会の提供を行うことで非正規から正規社員の転換を促進する「人材開発支援助成金」の活用	○人材開発支援助成金 申請17件 計画12件 (R5.9月末現在)	

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」におけるKPI達成状況（第二ステージ）

2 長期にわたり無業の状態にある方

【目標】 就職活動に踏み出すための支援を行い、2年間で就職件数408件以上（サポステ利用者）を目指す。			
	取組概要	令和5年度	令和6年度
全体KPI	○就職件数2年間で408件以上	○就職件数 178件（R5.9月末）	
—	<労働局> 地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）の取組強化		
相談・各種プログラム等による支援	○新規登録者数	○ 211人（R5.9月末）	
	○支援対象年齢が49歳までに拡大されたことを踏まえた相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・対応には高いコミュニケーションスキルと観察力が求められるため、人生経験豊富なスタッフが担当する。インテーク面談を重視し、家庭環境や背景を丁寧に聞き取り、個々人の問題点を把握していく。（広島サポステ） ・人生経験豊かなベテランの相談員を配置し、本人の人生経験にも基づき自尊心を肯定しながらの伴走型の支援を実施。来所が困難なケースに向けたオンライン面談、主に福祉センターや社会福祉協議会との連携を通して近隣の公共施設を使用したアウトリーチ面談を実施。自己理解促進のため氷河期世代も若年と一緒に参加できるセミナーを実施。（北部サポステ） ・本人の特徴や課題に応じ選定した相談員を中心に本人の実情に寄り添いながら個々に合わせた支援を実施。（ふくやまサポステ） 	
	○働く意欲向上等に向けたプログラムの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を就職氷河期世代に限定し月2回のセミナーと座談会を実施。セミナーは9月から「ミニ企業説明&相談会」として企業様にお越しいただき開催し職場見学や体験に繋いでいる。座談会では毎月テーマを変えて想いや考えを共有。本プログラムは登録者以外の参加も可能としている。 ・参加者数：セミナー41人、座談会30人（9月末現在）（広島サポステ） ・入口として職業適性検査、パソコン講習会、リクルート1DAYプログラムを提供。面談での丁寧な聞き取りにより本人に適切な職場見学、職場体験、職業訓練を提案。当事者同士のフリートーク座談会を実施することで意欲を喚起。ハローワーク、労働局連携で就職氷河期関係のプログラムやイベント情報を共有して利用者に積極的に提案。（北部サポステ） ・個別面談を主軸に、課題に応じてセミナーやボランティア活動も活用。ハローワークや派遣会社などとも連携し職業訓練や求人傾向などの情報提供。（ふくやまサポステ） 	
関係機関へのアウトリーチ	○福祉機関等への出張相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援センター、くらしサポートセンター、就労移行支援事業所や重層的支援の打合せに参加（東広島市、呉市）等福祉機関と連携し周知を行い、必要に応じて、ケース会議を実施。依頼があればアウトリーチ相談を実施。ハローワークの就職氷河期世代窓口とも連携を深め誘導している。（広島サポステ） ・広島市地域支え合い課、くらしサポートセンターとの連携により必要に応じてアウトリーチ相談を実施。安佐北区福祉センター、安佐南区福祉センターへの出張相談を月に1度実施、庄原市社会福祉協議会への出張相談を3か月に1度実施。安佐北区地域支え合い課との連携により精神保健福祉家族会の研修会においてサポステの紹介・説明を実施。（北部サポステ） ・尾道市みらいネット会議、三原市ひきこもり支援機関連携会でのサポステ周知、出張相談の情報提供。三原市、尾道市の各社会福祉協議会から依頼があった際、ハローワーク出張相談日を活用した相談を実施。福山市や社会福祉協議会が主催する地域関係者が集まる研修会や会議に積極的に参加し、関係構築によるサポステ周知を継続中。（ふくやまサポステ） 	
職場体験の機会の確保	○職場体験等の受け入れ先の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・今までお世話になった受け入れ先や中小企業家同友会へ情報発信し連絡をいただいた企業へ個別訪問を行う。また「ミニ企業説明&相談会」を通じて職場体験を推進している。（広島サポステ） ・利用者の希望する企業へのアプローチを実施。北広島町商工観光課を通じて北広島町内の企業への見学や職場体験の機会をいただいている。三次市役所、商工会組織約2,000社にサポステ職場体験先協力の依頼をして協力を得ている。各ハローワーク求人に対して職場見学などの依頼を必要に応じてハローワークを通して行っている。近隣の広島サポステとも連携を図り共同で体験や見学を実施している。（北部サポステ） ・支援対象者の希望を聞きながらその内容に適した企業に直接アプローチ、ハローワーク連携によるアプローチで機会提供の促進を図っている。（ふくやまサポステ） 	
職場定着・ステップアップ支援	○中・長期的なキャリア形成のための資格取得等技術向上支援に向けた個別相談や懇談会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・月、金曜日は19時まで開館時間を延ばし、土曜日も開館することで在職中の卒業生が利用しやすい体制を整えている。また、土曜日は継続した就労を意識し、実践的な内容のセミナーや座談会を実施している。（広島サポステ） ・毎月第2土曜日をステップアップの日と定め、サポステ卒業生のみを対象に定着・ステップアップについての面談を実施。定着・ステップアップ対象者の休日に合わせてスタッフの勤務時間をフレキシブルにして対応。卒業生講話、卒業生座談会を実施。（北部サポステ） ・月1回土曜日に定着・ステップアップ対象者にセミナーや座談会を開催し、個別面談は平日夜と土曜日で実施。（ふくやまサポステ） 	
その他	○支援対象者等の家族を対象にした支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2土曜日に「ご家族なんでも相談日」を設け、年3回ご家族向けの座談会を開催する。（広島サポステ） ・保護者相談日を設定して保護者からの相談を通し利用者登録に結びつける。保護者相談日以外にも要望に応じて対応。経過についても保護者と共有していく。（北部サポステ） ・月に1回、家族向け見学・説明会を開催。本人の状況に応じた家族面談の実施。（ふくやまサポステ） 	

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」におけるKPI達成状況（第二ステージ）

3 社会参加に向けた支援を必要とする方

	【目標】 ひきこもり状態の人や家族などの状況に合わせた相談支援体制を整備するとともに、就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町で実施する。		
	取組概要	令和5年度	令和6年度
全体KPI	<ul style="list-style-type: none"> ○ひきこもり相談窓口を全市町（23市町）で明確化 ○就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町（23市町）で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひきこもり相談窓口を全市町（23市町）で明確化済 ○就労準備支援事業実施市町 13市町 	
支援対象者の把握・相談支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <広島県> ○支援対象者の把握・分析方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町が行う実態調査への支援実施 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○市町における支援体制の充実 居場所づくり、相談体制、アウトリーチ機能を備えた生活困窮者自立相談支援事業等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○PF設置済市町数 15市町。 今年度設置に向けて現在調整中の市町数 2市。 ○自立相談支援機関による、「ひきこもり・不登校」に関する新規相談件数 78件（8月までの中間速報値） ○各ひきこもり相談支援センター（連絡協議会等）と連携し、市町でのひきこもり支援の充実・強化に向けた働きかけを行う。 【連絡協議会の開催】 西部センター（1～2月に開催予定） 中部北部センター（1～2月に開催予定） 【実務者連絡会議の開催】 ・11/29 ○ひきこもり支援推進事業を実施する市町数 ・ひきこもり地域支援センター事業 1市 ・ひきこもり支援ステーション事業 3市町 ・ひきこもりサポート事業 3市町 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○支援者の資質向上のための研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○自立相談支援機関の従事者研修を開催 参加者：自立相談支援機関職員・市町職員等（延110名程度予定） 開催状況：4回（10/23、12/8、1月、2月開催予定） ※12/8は「ひきこもり支援者人材育成研修」を合同で実施する予定。詳細は下欄参照。 	
本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <広島県> ○自立相談支援機関による就労支援や就労準備支援等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○就労準備支援事業が未実施の自治体に対し、市町との会議の場を通じて取組の促進を図る。（第2ステージの終わる令和6年度末までに19市町が実施する予定となっている） ○県は、新規実施を希望する自治体とともに、国のコンサルティング事業を活用し、事業開始に向けたノウハウの習得を目指している。 	
地域ネットワークの形成・活用	<ul style="list-style-type: none"> <広島県・労働局> ○市町の取組の好事例等の情報収集や情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで、市町PFの活動状況や取組の好事例等の情報を収集、自立相談支援機関の従事者研修等を通じた情報提供の拡充等により、市町担当者の理解を促し、市町PFの設置を進めてきた。 今年度は、労働局が行う広島県生活保護受給者等就労自立促進事業等における市町との連携体制を活用し、市町へPFを設置するよう働きかけていくこととしている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> <広島県> ○従事者研修の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域の支え合いコーディネート機能強化研修」開催 参加者：市町職員・社協職員等（20市町・114名） 開催状況：全4回（①Web、②7/3・7、③8/7・8、④9/29） ※②・③：2会場（広島、福山）で各々開催 ○「ひきこもり支援者人材育成研修」 テーマ「地域におけるひきこもり支援について」～長期化問題・地域連携を中心に～ 対象者：保健所、市町のひきこもり支援担当部署、その他所属においてひきこもり支援に従事している者、もしくは今後従事する予定のある者 日 時：12/8 ○自立相談支援機関の従事者研修を開催（再掲） 参加者：自立相談支援機関職員・市町職員等（延110名程度予定） 開催状況：4回（10/23、12/8、1月、2月開催予定） 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○市町担当者会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○各市町担当者向け説明会 ・12/8の「ひきこもり支援者人材育成研修」に併せて開催 ・ひきこもり支援ステーション事業や県の支援等について説明 	